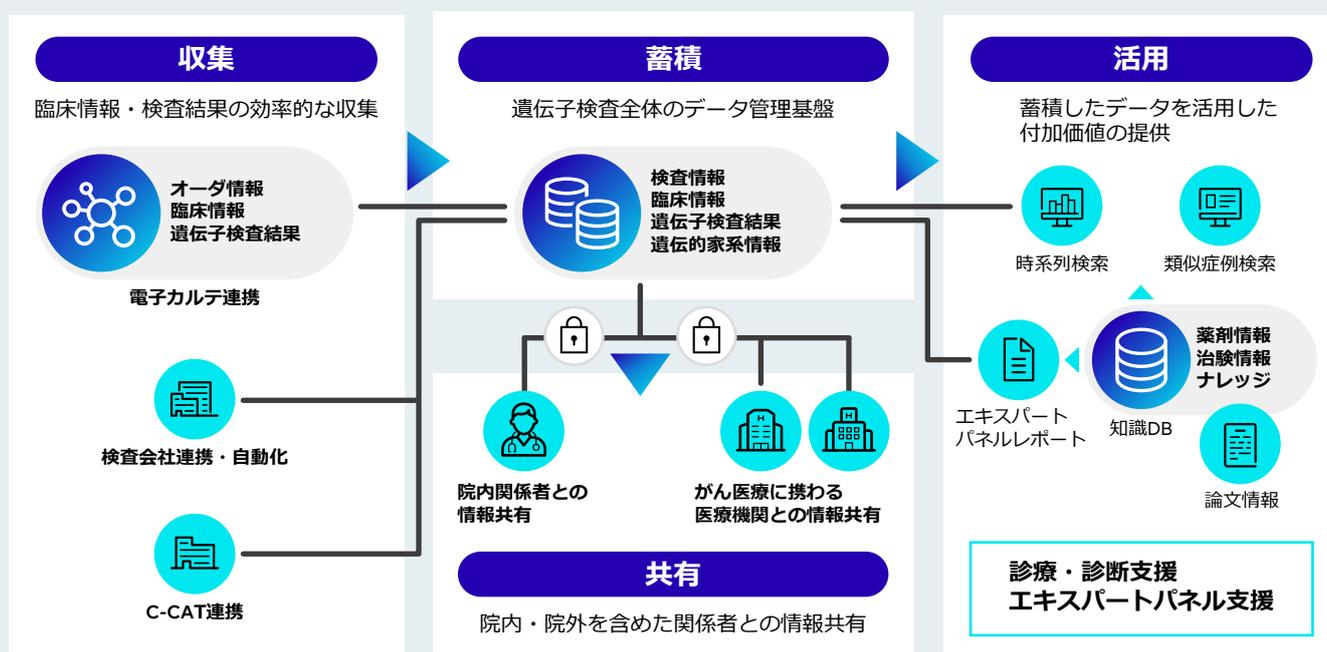


ゲノムソリューション

HOPE LifeMark-ゲノム医療統合支援システム

ゲノム医療のボトルネックを解消。
業務の効率化、蓄積されたデータの活用で、
ゲノム医療の質向上、医療者の働き方改革を支援。

HOPE LifeMark-ゲノム医療統合支援システムのコンセプト



利用シーン

検査会社からの結果返却時、**エキスパートパネル業務**、C-CATからの情報返却時
遺伝カウンセリング、サーベイランスなど

効果

エキスパートパネルの準備負荷軽減、エキスパートパネルの**ノウハウ蓄積**
家系図作成効率化、家系情報の構造化管理による**疾患診断や発症の推定・予防支援**

お客様事例

国立研究開発法人国立がん研究センター 中央病院 様
ゲノム医療におけるDX
～家系情報の収集・管理・利活用を効率化するには?～



京都大学医学部附属病院 様
効率的ながん遺伝子パネル検査の運用で
ゲノム医療の普及に取り組む



HOPE LifeMark-ゲノム医療統合支援システム

HOPE LifeMark-ゲノム医療統合支援システムは、遺伝子パネル検査業務を支援する機能と、遺伝医療の業務を支援するファミリカルテの二つのソリューションを提供します。



※ 対象検査種 拡大予定
(コンパニオン診断検査, germline検査, 全ゲノム検査 etc)

ゲノム医療統合支援システムの特長

ゲノム検査業務に必要な臨床情報、検査結果をシステムで一元管理し、エキスパートパネルの準備・レポート作成をサポートします。
蓄積されたデータの活用を促進し、医療の質向上、医療者の方の働き方改革を支援します。



データ取込

システムで一元管理したデータをもとに、複数症例のエキスパートパネル準備・レポート作成作業を支援します。検査会社ごとに異なる解析データを共通のフォーマットで取り込むことでデータを活用し、作業の効率化を実現します。



症例管理

過去のエキスパートパネル評価結果の参照・引用が可能で、エキスパートパネルでの症例管理をサポートします。運用するごとにデータが蓄積されていくため、経験が浅い方でも過去の症例を確認しながら評価が可能です。



データ活用

臨床情報、検査結果、入力情報、評価結果、レポート記載情報等のシステム内の情報は、構造化してシステム内のデータベースに蓄積しており、データの検索性も向上します。さまざまな目的に応じて院内でご活用いただけます。

ゲノム医療統合支援システム ファミリカルテの特長

遺伝医療に必要な遺伝的家系図、遺伝カウンセリング記録、その他の医療情報をデータ化し、家系単位で管理することができます。家系情報を構造化したデータで一元管理することで、疾患の診断や発症の推定・予防をサポートします。



直感的な入力

家系図作成・編集のための直感的で分かりやすいユーザーインターフェイス(※)を搭載しています。クライアントと円滑なコミュニケーションをとりながら、家系図を作成することができます。整然とした家系図により、誤認を防ぎ理解度向上に寄与します。

※特許登録済 特許第6786066号



デジタル化

電子カルテと連携し、カルテ情報を閲覧しながら詳細な家系情報を収集できます。遺伝カウンセリング等で収集した情報を構造化して蓄積することが可能なため、家系情報の更新や履歴管理などの作業効率化を実現します。



データ活用

蓄積された家系データは汎用的なファイル形式で出力可能となっており、研究、調査、学会、データシェアリングなど、さまざまな目的に応じてご利用いただけます。(連結可能匿名化によるデータ出力も可能)

お問い合わせ

富士通Japan株式会社

TEL : 0120-835-554 (富士通Japanお客様総合センター)

受付時間 : 9時~12時、13時~17時30分

(土曜日・日曜日・祝日・当社指定の休業日を除く)

富士通ヘルスケアソリューション

ホームページにて情報公開中!

URLまたはQRコードからアクセスできます。

<https://global.fujitsu/ja-jp/offering/contribution-to-personalized-medicine>

